

事務事業名 防災訓練事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：553

施策：	07	防災・減災対策の推進	財務コード	01080104-02-00
基本事業：	02	防災意識の向上	担当部	総務部
基本事業の成果指標	防災訓練及び学習会を実施した自主防災組織の割合 家庭で行っている防災対策の項目数（平均） 避難場所を知っている市民の割合		担当課	危機管理課（消防）
			担当係	危機管理担当（消防団）



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
・市民、市職員、防災関係機関			毎年9月1日に筑紫野市太宰府市合同総合防災訓練を消防署と連携のもと実施。 【令和2年度】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、太宰府市と協議のうえ中止となった。 【令和元年度筑紫野市・太宰府市合同総合防災訓練の実績】 実施日：令和元年9月1日 場 所：筑紫野市内（諸田多目的グラウンド） 参加機関数：筑紫野市・太宰府市・筑紫野太宰府消防組合消防本部・福岡県筑紫野警察署・筑紫野市消防団・太宰府市消防団・二日市コミュニティ運営協議会・筑紫野市立天拝中学校・筑紫野市立二日市中学校・筑紫野市立天拝小学校・筑紫野市立二日市小学校・筑紫野市立二日市北小学校・陸上自衛隊第4後方支援連隊・航空自衛隊春日基地（西部航空警戒管制団） ・九州電力（株）福岡南営業所・西日本電信電話株式会社福岡支店・筑紫ガス（					
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			福岡県地域防災計画、筑紫野市地域防災計画に基づき、筑紫野市、太宰府市防災関係機関及び、地域住民が一体となって総合的な防火訓練を実施することにより防災意識の高揚が図られるとともに、防災関係機関で緊急時の連絡体制が強化される。					
4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	01年度実績	02年度実績	03年度当初	04年度要求	05年度計画	06年度計画	目標
参加関係機関数	団体	24	0		20			
参加者数	人	600	0		500			
5. コスト								
事業費	計	千円	330	0	330	330		
	国	千円		0	0	0		
	県	千円		0	0	0		
	地方債	千円		0	0	0		
	その他	千円		0	0	0		
	一般	千円	330	0	330	330		
正職員人工数	人工	0.1						
正職員人件費	千円	807						
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,137	0	330	330			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	<状況>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、太宰府市と協議した結果中止することとなった。 <原因>新型コロナウイルス感染症の影響により、他団体との会議や訓練を禁止されている組織もあり、訓練そのものであるが、打ち合わせも出来ない状況であった。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし					
成果向上余地	中程度							
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄					
関東大震災を契機に9月1日を「防災の日」に設定し、全国的に開催されている。 各地で大規模災害が発生していることから、市民の防災意識も高まっている。								